

キャラクター名

プレイヤー名

ジェット

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	1
サポートクラス	シーフ	Lv.1:	シーフ	性別	男性
称号クラス				年齢	16
種族	中位魔族			境遇	記憶喪失
出自 (効果)	冒険者			目標	命令

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運	
基本値	8	9	12	6	12	6	9	
ボーナス	2	3	4	2	4	2	3	
クラス修正	0	2	2	0	2	0	0	
他修正								
能力値	2	5	6	2	6	2	3	

HP	32
MP	28
フェイト	6

	装備品	射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	無銘	至近	1	4				0	
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	クロスアーマー					3			
補助									
装身具	シーフズツール								
	能力値		5	0	6	0	2	12	7
スキル									
その他									
	総計(右)		6	4					
	総計(左)		5	0	6	4	2	12	7
	総計(両)								m
	ダイス数		3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数	
トラップ探知	6			6	+ 3 d	冒険者セット
トラップ解除	5		1	6	+ 3 d	キャップライト
危険感知	6			6	+ 2 d	ベルトポーチ
エネミー識別	2			2	+ 2 d	バックパック
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d	
魔術判定					+ d	ポーションホルダー
呪歌判定					+ d	└毒消し
錬金術判定					+ d	└MPポーション
						└MPポーション
						└
						└

現在重量：7

最大重量：15

所持金：5

預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
暗黒騎士	★	-	パッシブ/メイキング	-	自身	-	-	
効果：	あなたは《冷たい魂》をSL4で取得する。							
冷たい魂	4	-	パッシブ/メイキング	-	自身	-	-	
効果：	あなたが行う武器攻撃で1点でもHPダメージを与えた場合、対象に[毒(SL+1)]と[SL×5]点のMPロスを与える。							
フェイント	1	4	マイナー	-	自身	自動成功	-	
効果：	あなたが行う武器攻撃の対象が行うリアクションの判定に-1Dする。この効果はメインプロセス終了まで持続する。							
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中判定	-	
効果：	対象に武器攻撃を行う。その攻撃の対象が2体以上の場合、ダメージに+[SL×2]する。							
スティール	2	3	ダメージロールの直後	-	自身	自動成功	シナリオSL回	
効果：	:エネミーを対象とした白兵攻撃のダメージロールの直後に使用する。その攻撃の対象のドロップ品をひとつ得る。通常どおり、ドロップ品決定ロールを行うことには、ドロップ品の決定に効果を発揮するギルドサポートなども適用される。ドロップ品が設定されていないエネミーに使用した場合、[エネミーレベル×100]Gを得る。							
アームズマスタリー:短剣	1	-	パッシブ	-	自身	-	選択武器使用	
効果：	:取得する際に「短剣」からひとつ選択せよ。《アームズマスタリー:短剣》のように記述し、選択した武器を使用した命中判定に+1Dする。選択した武器ごとに別のスキルとして扱うが、複数の《アームズマスタリー》を同時に適用できない。							
リムーブトラップ	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：	トラップ解除の判定に+1Dする。							
ファインドトラップ	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：	トラップ探知の判定に+1Dする。さらにトラップ探知に失敗しても、トラップが作動しなくなる。							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

武器によって名前も記憶も失っている元ヴァーナのアウリル。 経験等は失われていない為、辛うじて斥候の役割をしていた事だけは分かる。最初は一人称すらも定まっていなかったが、現在は自分の事を「ジェット」と呼んでいる。呼ぶようにした。何故ここに居るかも不明だが、アストレートの実験体下として今日も歪んだ一日を過ごす。

伝承武器 短剣[下賜](重量+2/命中+1) [暗闇の武具]暗闇無効+暗闇影響化で攻撃ダメ+[CL÷3+2]D
誰が所持していたか、どのような性質を持った武器か、語られる事の無い一本の短剣。
所持し、使用した際に自身の名前と記憶を失い「ジェット」と言う存在しない者として自他に認識されるようになる。
その使用者は何らかの勝利や栄光を得る事は出来るだろう。――全てが終わった時の代償に使用者の存在を世界から消し去りながら。記憶に残らず、文献から抹消され、遺された物を見ても誰も思い出さず事さえする事が出来る。
そして短剣だけがまた残される。 使用者の全てを喰らう呪いの短剣が。